給与計算システム 給与奉行クラウド

Q キーワードで検索できます

奉行クラウド ヘルプセンター > 給与奉行クラウド > リリースノート

🖶 ヘルプを印刷

2024/08/27 (予定) 機能追加

『奉行Edge 年末調整申告書クラウド』の利用者を自動で作成する機能を追加

年末調整申告書

今まで新入社員が入社した際に、当サービスの社員として登録した後で、さらに [年末調整申告書クラウド利用者設定] メニューで『奉行Edge 年末調整申告書クラウド』の利用者として追加する必要がありました。

今回から社員を登録した後に利用者種類を選択するだけで、社員が利用者として自動で作成されるようになります。

また、すでに関連付けされている社員に [社員情報] メニューで扶養親族を追加した場合も、『奉行Edge 年末調整申告書クラウド』の利用者情報が自動で更新されます。

これに伴い、以下のメニューのメニュー名が変更、新たに追加されます。

変更前	変更後
[年末調整] -[年末調整申告書クラウド] -[年末調整申告書クラウド利用者設定]メニュー	[年末調整] -[年末調整申告書クラウド] -[年末調整申告書クラウド利用者 <mark>保守</mark>]メニュー
	新規追加
	[社員情報] -[社員情報] -[年末調整申告書クラウド利用者設定]メニュー

新たに追加された [年末調整申告書クラウド利用者設定] メニューでは、『奉行Edge 年末調整申告書クラウド』の利用者種類の選択とサービス利用の有効・無効を設定します。

利用者を自動で作成する場合

- 1. [年末調整申告書クラウド] メニューの連携方法で、「OBCiDの設定内容に従う」「社用e-Mail1を利用者IDとする」「社員番号を利用者IDとする」から選択します。
 - なお、「OBCiDの設定内容に従う」はご利用の製品によって表示されません。表示されている場合は、「OBCiDの設定内容に従う」を選択してください。
- 2. [F12:登録]を押すと、現在の社員情報と『奉行Edge 年末調整申告書クラウド』の利用者情報が同期します。
- 3. 新たに追加された [社員情報 社員情報 年末調整申告書クラウド利用者設定] メニューを選択し、利用者種類を「申告書提出者」として登録します。
- 注意 連携方法が「[年末調整申告書クラウド利用者保守] メニューで利用者連携する」の場合は、自動で利用者は作成されません。
 - 今まで通り、年末調整処理をはじめる前に [年末調整申告書クラウド利用者保守] メニューで「利用者情報の初期設定」 「利用者情報の更新」「利用者情報の利用停止」を実行する必要があります。

追加メニュー

[社員情報 - 社員情報 - 年末調整申告書クラウド利用者設定] メニュー

対応メニュー

[法人情報 - サービス連携 - 年末調整申告書クラウド] メニュー

[年末調整 - 年末調整申告書クラウド - 年末調整申告書クラウド利用者保守] メニュー

内容については、変更または次回以降へ延期する場合があります。